

Ⅱ 苦情の現状

Ⅱ 苦情の現状

1. 苦情件数とその推移

令和3年度に受け付けた苦情は67件であった。

2. 種類別苦情件数

典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)に関する苦情件数を種類別にみると、水質汚濁 9件(13.4%)、騒音 22件(32.8%)、振動 1件(1.5%)、悪臭 34件(50.7%)、その他 1件(1.5%)となっている(大気汚染、廃棄物投棄、地盤沈下に関する苦情は 0件)。

公害ごとの苦情処理件数の推移をみると、平成28年度以降は一貫して悪臭に関する苦情が最も多くなっており、その内訳は、野焼きの煙の臭いや生活排水の臭い等である。

また、騒音に関する苦情も比較的多く、これらは、工場等からの機械騒音や作業騒音、建設工事に伴う建設作業騒音等である。

水質汚濁の苦情では河川の白濁など、その他の苦情では土砂の流出が見られた。

